

激動の昭和・新宿に咲いたエスプリとユーモアの劇場の記録
「ムーランルージュ新宿座 生誕80周年記念」

風車は回る、夢をのせて。今、ときめく青春の輝き。

明日 待子

ムーランルージュ の青春

出演 / 三崎 千恵子・野末 陳平・森川 時久・楠 トシエ・鈴懸 銀子 / ラサル石井
プロデューサー / 千葉 一彦・三輪 敏雄・橋本 啓一 撮影 / 本吉 修 音楽 / 仙石 幸太郎 美術制作 / 林 隆ほか
脚本構成 / 大隅 允 監督 / 田中 じゆうこう 助成 文化芸術振興費補助金
企画・製作・配給 / 幻野プロダクション 宣伝協力 / アルゴ・ピクチャーズ

<http://shinjukuza.com/>

☆バラエティとアイドル、この言葉はこの劇場からはじまった☆

ムーランージュの青春

■ムーランージュ新宿座とは

浅草の玉木座の支配人だった佐々木千里が1931年（昭和6年）の暮れに開館した芝居とレビューを提供する常設の劇場でした。魅惑的なレビューダンスと風刺劇で学生・インテリ層の人気を集め、新宿の街にその屋根に乗せた赤い風車の目印とともに戦争を挟んで20年間もオリジナルのドラマを発信しつづけ、ここから有島一郎、望月優子、明日待子、森繁久弥、三崎千恵子、由利徹などの名優が巣立って行きました。歌ありコントありのバラエティという言葉はこの劇場から生まれました。この劇場が閉館してから60年が経ち、数少ないムーランの出身者に取材をして貴重な資料や新証言と共につくりあげた記録映画です。

■元祖アイドル 明日待子

何よりも今で云うアイドルの元祖が、この劇場のトップスター明日待子さんだったという発見は大きなものでした。15,6歳の無垢な踊り子を子役として舞台上登場させ、しかも男の子役として起用した配役はムーランならではの独創的な発想でした。胸の膨らんだ美少年のひと言ふた言に若い観衆はドキドキしながら新鮮な舞台に酔いしました。トップスターの明日待子と小柳ナナ子は連日のように新聞雑誌を賑わし、コマーシャルモデルの他レコードや映画出演など今と変わらない十代のアイドルでした。特に明日待子は「初恋の味」として一世を風靡したカルピスの初代モデルでした。



■それぞれの人生、永遠の青春

かつてのスターたちとその家族を訪ねる撮影はそのままスターのご家族としての有り方に出会う旅でもありました。アイドルだった母をどのように尊敬し、別れを看取ったか。またムーランを離れた後のスターたちの生き方、死に方はどのようなようであったか？愛する夫に妻に子や孫たちにどのような誇りと忘れたい記憶を残したのか。去った人、今を生きる人、それぞれに青春とは何かを問いかけながら、誰にも共通する人生に咲く花とその散り方をこの映画は美しく感動的に体験させてくれることでしょう。

”嬉しそうな明日待子さんの笑顔。ムーランージュを支えた人々の思いがその表情に溢れていました。”

永六輔（ラジオ・タレント）

”いちばん嬉しく驚くのは、ムーランのトップスターの明日待子さんが90歳になるいまでも元気で、そして、美しい姿を見せてくれること。”（東京人8月号より）

川本三郎（評論家）

出演 / 明日待子・中村公彦・三崎千恵子・野末陳平・森川時久・楠トシエ・鈴懸銀子・小澤公平・本庄慧一郎・中島孝・築地容子・大空千尋・藤枝利民・宮里明見・小峰葉子・奈良典子・沢村円・ラサール石井 プロデューサー / 千葉一彦・三輪敏雄・橋本啓一 撮影 / 本吉修 照明 / 三枝隆之 音楽 / 仙石幸太郎 美術制作 / 林隆 脚本構成 / 大隅 亮 監督 / 田中 じゅうこう

2011年 / カラー / 1時間49分 / HD 製作・配給：幻野プロダクション 宣伝協力：アルゴ・ピクチャーズ

公式HP：<http://www.shinjukuza.com/>

9月17日（土）より感動のロードショー

特別御鑑賞券発売中
＜1,300円（税込）＞

当日一般1,800円：学生1,500円
シニア・小人1,000円

初日舞台挨拶有り、
詳細は劇場、及びHPをご覧ください。

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コモショップ左入

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・整理券制

上映時間 10:15 12:30 14:45 18:35

